

埼玉

市区町村名	木の名前	木の画像	花の名前	花の画像	コメント・備考	入力日
蕨市	ケヤキ		サツキ			2007/10/29
和光市	いちょう		さつき		昭和55年10月に市制10周年を記念して、市の木、市の花を制定することになりました。そこで8月にアンケートを取り、総数498通の応募の中から特に多かったものを慎重に審議した結果、市の木には、和光音頭にも歌われている「イチョウ」が、また市の花には、当時盆栽などに人気が高かった「サツキ」が選ばれました。これは自然愛護思想の普及に資するために、市の象徴として指定されたものです。その後緑化推進事業を進める中で、「イチョウ」、「サツキ」を中心に緑を増やしていきました。	2007/10/29
飯能市	スギ		ツツジ			2007/10/29
上尾市	かし		つつじ		「かし」...上尾に古くから見られる樹木です。防風林や防火林として、また材質が硬いことから農具や大工工具などの材料としても使われるなど、昔から生活に深く関わりのある樹木です。 「つつじ」...かつて市内には山つつじが群生し、至る所で見ることができました。毎年5月ごろに上尾丸山公園などで、さまざまな種類の花を美しく咲かせています。家庭園芸としても人気が高く、広く愛されている花の一つです。	2007/10/29
東松山市	松		ぼたん		市内の豊かな緑のなかでもとりわけ目につくのが松の木です。また、市内には関東有数のぼたん園があり、市民にも親しまれていることから、昭和49年に市の木を松、市の花をぼたんと決めました。	2007/10/30
日高市	モクセイ		ハギ		日高市の木と花は、自然愛護思想及び緑化思想の普及に資するため、市の象徴として昭和55年12月8日に指定しました。 日高市の木は「モクセイ」。幹の高さは4m～5mの常緑小高木で、花は葉の根元にたくさんつき、甘い芳香が人の足をとめます。庭の植木として親しまれているほか、学校の校庭などにも大きな木があります。 日高市の花は「ハギ」。普通は、やまはぎを指し、秋の七草の第一とされています。幹の高さは1m～1.5mの落葉低木で、初秋の頃に紅紫色の可憐な花をつけ、枝先が地面につくようにしだれます。市内には高萩の地名があるように、昔は日高の野山にたくさん自生していました。	2007/10/30
東秩父村	槻の木		ムラサキツツジ			2007/10/31
狭山市	茶の木		つつじ		茶の木は、市の印象づけに一番ふさわしい常緑低木です。また、狭山茶は鎌倉・室町時代から銘園5場の一つとして名声をうたわれ、古くから市民が愛着を持ちつつけているところから、市の木として決まりました。 つつじは、市内の山野に多く自生しています。また、古くから稲荷山公園のつつじとして、親しまれた花であることから、市の花として決まりました。	2007/10/31
秩父市	カエデ		シバザクラ		【シバザクラ】 地面を覆うように密生し、春には赤、ピンク、白などの花を咲かせるシバザクラ。羊山公園の「芝桜の丘」には約100万人の観光客が訪れ、今や秩父を代表する花となっています。 【カエデ】 葉は手のひら状で、秋には紅葉するカエデは美しく、秩父を訪れる人の目を楽しませています。また、日本にあるカエデのほとんどの種類が秩父地域に自生しています。	2007/10/31
所沢市	いちょう		茶の花			2007/10/31

神川町	冬桜		コスモス		晩秋から初冬にかけて咲く冬桜(町の木)と秋を彩る秋桜(町の花)。「秋桜」と「冬桜」の競演も時期には楽しめます。	2007/10/31
					【冬桜】晩秋から初冬にかけて開花する珍しい桜です。神川町の城峯公園には約600程植えられており、毎年11月になると、冬桜を一目見ようと沢山の花見客が訪れます。花は小振りでも八重の花をつけます。	2007/10/31
					【秋桜】秋になると、町のあちこちで目にする事が出来ます。町の「ゆ〜ゆ〜ランド」では毎年秋桜まつりと称しイベントが開催されます。	
新座市	モミジ		コブシ			2007/11/1
三郷市	シイノキ		サツキ			2007/11/1
久喜市	いちよう		梨の花		市民の木…いちよう 市制施行3周年を記念して、昭和49年10月に制定されました。	2007/11/1
					市民の花…梨の花 市民の木と同様、市制施行3周年を記念して制定されました。	
吉見町	けやき		きく		合併30周年を記念して、町民の方から町の花を募集しました。昭和59年7月、吉見町コミュニティ推進協議会において、吉見の歴史や生活とのかかわりをもとに討議した結果、町の木に「けやき」、町の花に「きく」が制定されました。	2007/11/2
白岡町	松		梨の花		白岡町の木と花は、昭和59年の町制施行30周年を記念して、住民からの公募を行い、1539件の中から選ばれました。町の木は、常緑樹で伝統と気品のある「松」。町の花は、白岡町の特産物である「梨の花」。	2007/11/6
鴻巣市	ケヤキ		パンジー		花かおり 緑あふれ 人がやぐまち こうのす 鴻巣市は埼玉県ほぼ中央に位置しています。 昭和29年に1町5カ村(鴻巣町、箕田村、田間宮村、馬室村、笠原村、常光村)が合併して県内17番目の市として誕生した本市は、江戸時代には中山道の宿 場町として栄え、370年余の伝統を誇る「ひな人形のまち」として、また近年では「花のまち」としても全国にその名が知られています。 平成17年10月1日には、吹上町、川里町と合併し、新鴻巣市が誕生しました。	2007/11/6
					市の木 ケヤキ ・武蔵野 鴻巣の風情を代表する樹木として昔から親しまれ、躍進する鴻巣を象徴する木として、市制施行30周年を記念して昭和59年11月6日に指定されました。	
					市の花 パンジー ・本市の花き栽培として最初に生産されたゆかりの深い花であり、市民に愛され親しまれている花として市制施行20周年を記念して、昭和49年11月5日に指定されました。	
川口市	サザンカ		鉄砲ユリ		サザンカ(市の木) 昭和49年7月1日制定。当時全国的に緑化がさけばれ、また市に緑化推進委員会を設置、さらに市政施行40周年を記念して制定することに。市民に親しみやすく、移植が容易で一般家庭や公園などに広く活用でき、市のシンボルとしてふさわしい樹木17種が選出、その中から市民投票の結果を参考に決定しました。	2007/11/9
					鉄砲ユリ(市の花) 埼玉国体をきっかけに昭和41年1月27日制定。土地にゆかりの深い花五色桜、桜草、椿、百合、チューリップ、水仙など多数の候補があげられ、研究・協議の結果、他の県・市の花に関係なく、明るく清純で、しかも川口市で広く栽培し愛されている花として決まりました。	